

都道府県名	群馬県	授与年度	平成 15 年度
学校種	高等学校	担当する教科等	農業
教授内容	「産業動物」、「課題研究」、「総合実習」		
教諭の前職等	製薬会社の研究員(新薬研究)	年齢	44 歳
内 容	<p>対象学年 動物科学科 1年、2年、3年</p> <p>授業時間数(週コマ数) 「産業動物」2年2時間、3年3時間 「課題研究」3年4時間 「総合実習」1年2時間、2年2時間、3年2時間 放課後の当番指導 2～3時間</p> <p>1. 授与・採用経緯等</p> <p>平成16年度採用群馬県公立学校教員採用選考試験における社会人特別選考試験によって採用内定し、群馬県教育委員会が実施した教育職員検定に合格したため、特別免許状が授与され、平成16年4月から農業科の正規教員として採用された。</p> <p>2. 具体的教授内容・活動実績</p> <p>「産業動物」:2年では、飼料について特性、加工・貯蔵、栄養価給与法、飼料計算等を教えている。3年では、乳牛について特性、品種繁殖、子牛の育成、飼養管理、牛乳の生産と搾乳、病気と予防衛生、牛舎と附属設備、糞尿の理由と処理、酪農経営等を教授している。</p> <p>「課題研究」:生徒が自分で設定した課題に1年かけて取り組む。乳牛の夏バテに対するお灸や磁気、ビール酵母等の効果、乳量と音楽の関係等ユニークな内容で取り組む生徒を側面から指導している。</p> <p>「総合実習」:農場で飼育している各種の動物のうち、乳牛を担当している。</p> <p>授業時間内の他、放課後の当番実習の指導を毎日行っている。分娩や交配等が休日になることもあり、牛の状態に合わせた指導も行っている。毎日の指導内容は、飼料作成及び給与、牛床の清掃、運動場の清掃、搾乳、ブラッシング、体温・呼吸数・脈拍・牛舎内温度の測定や牛の健康管理について教授している。</p> <p>3. 効果・課題</p> <p>教室授業においては、重要事項を全員で反復合唱させ完全に覚え込ませるなどユニークな方法をとったり、時には大学獣医学部レベルの高度な内容も取り入れている。獣医学博士であり、家畜死亡時には生徒に病理診断を下すなど、高度の専門的力量は生徒にとって大変魅力的であり、大いに興味・関心をかき立てられている。</p> <p>今のところ、教諭本人に関する課題といったものは全く見当たらない。</p> <p>4. その他</p> <p>本務をきちんとこなしている上に、ハーモニカの技量が大変高いため、生徒の同好会を発足させ、当番実習の指導後、農場でハーモニカの指導も行っている。</p>		

都道府県名	島根県	授与年度	平成 6 年度
学校種	高等学校	担当する教科等	農業
教授内容	造園、土木施行		
教諭の前職等	設計施工、価格積算、維持管理業務	年齢	47 歳
内容	<p>対象学年 2 ～ 3 年 授業時間数（週コマ数） 19</p> <p>1. 授与・採用経緯等</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 7 年度から、農業に関する授業を専門的に扱う教諭として農業高校に採用された。 本県の教員採用においては、商業、工業、農業および水産等の専門教科の人材が得難いことから、これらの教科に限り平成元年度から特別免許状の授与を前提とした教員採用選考を実施している。この選考の実施にあたっては、通常の公募と同様である。 <p>2. 具体的教授内容・活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 週 19 コマの授業を担当し、主に農業科の授業について、造園と土木施行技術について実務経験を通して実践的な指導を行っている。 平成 16 年度は造園技術、造園緑化材料、造園計画などを担当している。 <p>3. 効果・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な教科の教員を確保することができた。 土木施工管理技士 1 級や造園施工管理技士 1 級の資格を有し、14 年に及ぶ造園会社での経験を活かして実際的な指導が可能となった。造園指導の第一人者として活躍している。 <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後、採用予定数の減少が見込まれる中で、専門教科について毎年度採用の募集ができるわけではない。一方で造園については特殊性が高く、募集しても適当な人材が集まるとは限らない。しかし、農業高校の特色ある学校づくりに資するため、また農業教育（造園）に民間企業の実情を踏まえた指導を取り入れるためにも、必要な時には一般採用枠の中での採用を計画したい。 平成 14 年度に高等学校教諭専修免許状（農業）を取得した。 		